

いわみざわ



発行所 隊友会岩見沢支部
編集 陸上自衛隊
岩見沢駐屯地
印刷所 福祉村
岩見沢市栗沢町
最上350
TEL(0126)45-2721

平成26年度矢白別演習場秋季定期整備



妻部の構築



吸出防水シートを使用して洗掘を防止



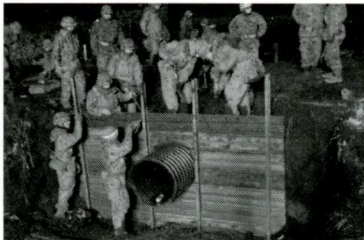
薄水が張る中での排水整備



装輪道整備



排水設備の整備



夜間にまで及んだ作業



故障整備を実施



鋼矢板で地盤沈下を防止



降雨と排水不良によりぬかるんだ現場

「徹底的」に「徹底」した演習場整備！

第12施設群整備隊(整備隊長・末廣1佐)は11月6日から18日の間、平成26年度矢白別演習場秋季定期整備を実施した。今回は、岩見沢から第12施設群主力及び第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊、釧路から第342施設中隊及び第2直接支援中隊釧路派遣隊が第12施設群整備隊を編成した。

9日に実施した編成完了後、結式の中で整備隊長は、「徹底的」に「徹底」することを「徹底」せよ。を要望し、「整備隊として一丸となって任務を遂行しよう。」と述べた。本演習場整備における任務は、矢白別演習場全域における装輪・装軌車道整備であり、北部方面隊唯一の施設群として作業品質、適時性、指揮幕僚活動、基本基礎、安全管理等において妥協することなく徹底的に「質」を追求した整備を完成させ、「自衛隊の道場」としての機能を向上させる。11日、作業を開始して3日目を迎えたが、降雨や早朝の冷え込みに加え、作業時間の延長等、徐々に疲れが出始める頃であるが、隊員たちの士気は旺盛であり、高い施設技術と丁寧な作業により、各中隊順調に進捗した。15日は北部方面総監点検が実施され、状況報告の中では、整備隊としての作業内容と指揮システムを野外展開した取り組みについて報告し、総監は「新しい事にチャレンジすることは非常に良い事だ。」と述べられた。その後は熊の山と大和台を視察し、成果を確認するとともに隊員を激励された。整備隊本部は、日々の作戦会議において各作業現場の作業進捗を把握、機力及び隊力を集中させて本来任務である恒常整備・特定整備を徹底的に品質を追求して早期終了に寄与した。また、整備隊長は演習場の機能向上のため、3箇所の追加任務を付与するとともに、北施設直轄の第303タンク車両中隊の骨材運搬を支援して、北部方面施設隊としての任務遂行にも大きく貢献した。第101施設直接支援大隊第2直接支援中隊は、整備隊車両の故障整備・日々の巡回整備を実施して、高稼働率維持・向上に大きく貢献した。

